



The Supporters Times

サポーターズタイムズ



衆議院議員 秋葉賢也 政策・活動レポート

台風19号被害からの復旧・復興に迅速に取り組みます

台風19号により、お亡くなりになった方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された方々にお見舞いを申し上げます。今回の台風被害は、10月25日現在で死者77名、行方不明者8名（うち宮城県内は死者19名、行方不明者2名）に及んでいます。私の実家がある丸森町も甚大な被害を受けており、町内に住む私の高校時代の同級生の一人も自宅の浸水によって亡くなり、大変ショックを受けています。改めてご冥福をお祈り致します。

安倍総理は、今回の台風被害について「激甚災害」に指定することを10月15日に表明しました。激甚災害指定は被害状況の調査を積み上げて、国が定める基準に達することを確認してから指定が行われることが通常ですが、このような初期段階で、激甚災害指定の方向性を示したことは、極めて画期的なことです。激甚災害に指定されると、公共土木施設や農地等の被害の復旧事業について、国庫補助率が1～2割程度引き上げられます。また、安倍総理は、補正予算も含めてしっかりと財政措置を講じていく考えを示しています。

私は、10月16日に武田防災担当大臣に面会し、宮城県内の被災状況を説明するとともに、一層の支援をお願いしてきました。具体的には、孤立集落を解消するためにもまずは道路と水道の復旧が第一であること、被災した農家への支援や阿武隈急行の早期復旧と代替交通手段の確保などについて要請しました。丸森町では依然としてほぼ全域で断水状態が続いており、ライフラインの復旧が急務です。

10月17日には、安倍総理が丸森町などの被災地を視察され、私も首相補佐官として同行しました。総理が予算委を終えて翌日に駆け付けるのは、異例の早さです。丸森町の排水機場の前で、どのように河川が崩壊し、浸水していったか説明を受け、改めて今回の台風19号の被害の甚大さを認識しました。避難所では、被災者のお一人お一人から、不安なお気持ちや要望などを伺いました。避難所の視察を終え、安倍総理は今回の災害を「特定非常災害」に指定すると発表しました。特定非常災害に指定されると、行政手続きが困難な被災者を救済することを目的として、運転免許証の有効期間延長などの特例が適用されることが見込まれます。その後、霞目駐屯地に移動し、村井知事から、排水機場の機能強化に対する支援、農家の営農再開に対する支援、阿武隈急行線復旧に係る財政支援の拡充などについて要望を受け、安倍総理は、しっかり対応したいと応じました。

今回の台風被害では、仙台市内を含め全国各地からボランティアの方々が被災地に入ってきていただいております。大変有り難く思っています。私自身も、被災地の皆様が一瞬も早く元の生活を取り戻せるように、安倍内閣の一員として全力で取り組んで参ります。

内閣総理大臣補佐官 衆議院議員 秋葉賢也



愛する街だから必死になれる！ 秋葉賢也は走り続けます！！

総理大臣補佐官「ふるさとづくりの推進」のための視察を実施

総理補佐官が県内視察 やねだんなど訪問

10月9日放送:鹿児島放送「Jチャンネル」

安倍政権で「ふるさとづくり」を担当する秋葉賢也総理補佐官が県内を訪れ、住民や行政関係者と意見交換をしました。秋葉補佐官は8日、「行政に頼らない村おこし」を掲げる鹿屋市の「やねだん」集落で町内会の役員らと懇談しました。「やねだん」では使われていなかった農地を集落で活用し、サツマイモやトウガラシを手がけていて、リーダーの豊重哲郎さんを中心にオリジナル焼酎の販売や微生物を使った肥料の開発で活動資金を確保しています。秋葉補佐官は「補助金に頼らず自主財源にこだわったという発想がすばらしい。息長く発展した秘けつがこういった自主財源制度にあるのでは」と話していました。また、9日は三反園知事と面会し、地域活性化を担う人材の育成などについて意見交換をしました。



読売新聞10月11日29面 記事の一部を抜粋



豊重さん(右)の説明を聞く秋葉氏(左)

秋葉首相補佐官 鹿屋市など視察
住民らと意見交換
秋葉賢也首相補佐官が8、9日、鹿屋市と大崎町、南九州市を視察した。
ふるさとづくりの推進と少子高齢化対策を担当しており、現場の声を聞くために来県した。8日は鹿屋市申良町の柳谷集落を訪れ、総務省の2018年度「ふるさとづくり大賞」で最優秀賞を受賞した町内会長の豊重哲郎さん(78)と意見交換を行った。

「やねだん」の通称で親しまれる同集落で、豊重さんは行政の補助金に頼らない地域作りをテーマに活動。住民を巻き込み、集落の活性化に尽力してきた。公民館で座談会が開かれ、豊重さんは、住民が育てたサツマイモを原料にした焼酎の販売益を集落の「自主財源」にしていることなどを説明。秋葉氏は「(集落が)息長く発展してきた秘訣は自主財源制度にあると感じた」と話した。秋葉氏はこのほか、大崎町の陸上競技施設や中間処理工施設、南九州市の知覧特攻平和会館なども視察した。

第一回全世代型社会保障検討会議にて「第一回全世代型社会保障検討会議」に出席する秋葉総理補佐官



江藤拓農水大臣より総理補佐官引継ぎ等説明を受ける秋葉総理補佐官

武田内閣府防災担当大臣と面会し、阿武隈急行の早期復旧と代替手段確保を要請致しました。



全世代型社会保障実現のための施策を推進!

改造内閣発足後、初めての臨時国会が10月4日にスタートしました!安倍総理が所信表明演説のポイントについて、秋葉総理補佐官が簡潔に、ご説明いたします。

総理補佐官(少子高齢化対策・ふるさとづくりの推進担当)として、全世代型社会保障の実現を進めて参ります。



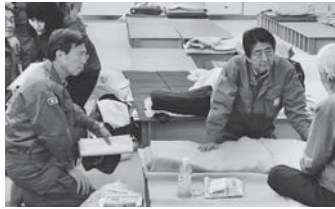
一億層活躍社会

地方創生

- 3歳から5歳までの全ての子どもたちの幼児教育・保育の無償化が実現した。来年4月からは、真に必要な子どもたちの高等教育の無償化にする。
- 70歳までの就業機会の確保、予防医療と介護の充実、厚生年金の適用拡大。
- 農産品輸出拡大法を制定し各国の輸入規制緩和に向けた働きかけを推進。
- 台風15号による大規模停電への政府の対応を徹底的に検証する。
- 風評被害の払拭に全力で取り組むとともに、東北の復興の加速化に努める。復興庁の後継組織を設置する。
- キャッシュレス化を進め、インバウンド消費の拡大を通じ、小規模事業者・中小企業の成長へつなげる。

「秋葉賢也」のポスターをご自宅や事業所のブロック塀にご掲示頂ける皆様、是非、仙台事務所 (Tel.375-4477) までご連絡下さい。

秋葉総理補佐官は、台風19号による被害状況調査のため、安倍総理に同行し、宮城県を訪ねました。



秋葉総理補佐官 台風十九号による被害状況調査のため宮城県入り

丸森町へ



宮城県伊具郡丸森町などの被災地に入られた安倍総理に、総理補佐官として同行いたしました。

総理が予算委を終えて翌日に駆け付けるのは、異例の早さです。丸森町の排水機場の前で、どのように河川が崩壊し、浸水していったか説明を受け、改めて今回の台風19号の被害の甚大さを認識しました。避難所では、被災者のお一人お一人から、不安なお気持ちや要望などを伺いました。

被災者の皆様が一日も早く安心して暮らせる生活を取り戻せるよう、全力を尽くします。

安倍総理の迅速な対応により、今回の災害は「**特定非常災害**」指定を受けました。これにより、行政手続きをすることが困難な被災者に、一定の公共施設等利用が認められるようになりました。



被災者の皆様へ (特定非常災害指定に基づく措置)

- ①**医療** 保険証や現金がなくても医療機関が受診できます (住家の全半壊、全半焼、床上浸水等被災した旨、医療機関の窓口で申請下さい *罹災証明書の提示不要!)
- ②**運転免許の期間の延長** (令和元年10月10日以後に満了する許認可が対象です。台風19号の被災者については、最長で令和2年3月31日まで延長される予定)
- ③**法人に係る破産手続き開始決定の留保** (台風19号の影響を受け債務超過に陥った法人に対して、債権者から破産手続開始の申立てをされても、一定の条件で、破産手続開始の決定を行われません)。

秋葉総理補佐官 伊東農林水産副大臣に同行し 農作物の被害状況調査を実施



被災された畜産酪農家を訪問

台風19号により大きな被害を受けた畜産酪農業者より、直接、被害状況を伺う秋葉総理補佐官。



意見交換(丸森町役場にて)

伊東農林水産副大臣に同行し、町役場で保科町長等から被害現場の現況についてご説明頂きました。

稲わら被害現場で、農業関係の損失について国の早急な支援策を求めると要望を、JA宮城中央会の高橋会長より承る。

マダガスカル国民会議長 秋葉総理補佐官を表敬訪問

秋葉総理補佐官は、来日されたラザナマハソア・マダガスカル国民会議長による表敬を受けました(10月23日)。

秋葉補佐官が、①今年1月、総理特使としてマダガスカルの「大統領就任式典」に出席し、ラジョリナ(新)大統領に、天皇陛下の祝電と安倍総理の祝辞をお伝える職務を果たされたことや、②衆議院議員初当選以来、仙台市の八木山動物園とマダガスカルのチンバザ動物園との間での生物の保全・研究活動の協力関係を構築するために力を尽くした経緯等を踏まえた上での、今回のマダガスカル議長による表敬訪問となりました。

今回の面会で、秋葉総理補佐官とラザナマハソア議長は、両国間の友好関係の更なる発展に取り組み続ける方針を共に確認し合いました。



泉区将監の土砂崩れ現場を確認



台風19号の影響で仙台市内も広範囲な浸水被害や土砂崩れがありました。将監の現場は以前から崖崩れが懸念されており抜本的な工事について検討が行われている矢先でした。度重なる雨での全体的な被害拡大が心配されます。私もしっかりと対応して参ります。

松森の防災訓練に参加!

常日頃から避難ルートや家族との合流場所などをチェックするとともに、要支援者の把握も出来ていると良いですね!



2019泉ヶ岳 悠・遊フェスティバル!



太鼓や踊り、演奏など華やかなステージイベントの他、芋煮や焼きそばなどの食品販売、地場産品の販売ブースが多数あり大勢の人で賑わいました!

「異業種交流会～宮城のよんなな会&ちいきん会有志による仲間づくりの会」に参加

宮城そして東北をより良くしたい、地域の課題を解決したいとの想いをもつ皆さんの会に初めて参加しました。



タウンミーティング

(国政報告会)

- 11月22日(金) 19:00 **泉区** 南中山市民センター (南中山2-24-12)
- 11月23日(土) 17:00 **宮城野区** 高砂市民センター (高砂1-24-9)
- 11月23日(土) 19:00 **若林区** 六郷市民センター (今泉1-3-19)

現地現場主義

秋葉代議士は初当選以来、金帰月来《金曜夜に仙台に帰り、月曜朝駅頭演説をし夜に東京に戻る》を続けています!

もう新米は 食べましたか!

毎年恒例の稲刈りを大友さん(若林区)の田んぼで手伝わせて頂きました!稲刈り機の操作も完璧です!



宮城県理学療法士会50周年記念式典で祝辞

一般社団法人宮城県理学療法士会 50周年・法人設立10周年記念講演・記事



日頃より理学療法士の皆様に於かれましては、医療業界のみならず介護業界でもご貢献いただいていることに、改めて尊敬と感謝を申し上げます。50周年本当におめでとうございます!

～ kenya's PLOFILE ～

- 昭和37年7月3日宮城県丸森町生まれ。寅年・蟹座・A型。
- 角田高校を経て、中央大学法学部卒業、東北大学大学院法学研究科博士課程前期修了(法学修士)、同法学研究科博士課程後期満期退学。
- (財)松下政経塾卒塾(第9期生 宮城県初)を経て、宮城県議会議員(3期)、総務大臣政務官、厚生労働副大臣および復興副大臣、東日本大震災復興特別委員長などを務める。現在、衆議院議員(6期目)、内閣総理大臣補佐官を務める。
- 母校の中央大学商議員や保護司のほか、東北医科薬科大学講師、宮城大学講師、仙台青葉学院短期大学講師なども務める。
- 著書:『「ジブリワールド」構想』(KKロングセラーズ)、『健康寿命-60のヒント-』(東京書籍)、『厚生労働省改造論』(イースト新書)、『松下幸之助「最後の言葉」』(角川SSC新書)、『東北の夢創造』(ぎょうせい)ほか。



秋葉賢也 事務所 〒981-3121 仙台市泉区上谷刈4-17-16
 www.akiba21.net Tel 022(375)4477 Fax 022(375)0057
 購読料 年額10,000円 編集 (株)アクトジャパン